児童センターの現状報告

移転後、児童センター・子育て支援室の変化

資料１

中部公民館		ラ　ピ　オ
	児童センター	
・小学生が中心	**来館者**	・乳幼児中心、小学生は増えつつある ・年齢問わず家族での利用が多い
・弁当を持参で一日過ごす ・同じ子が来る	**来館者の特徴**	・駐車場の関係で短時間滞在が多い ・市外からの来館者も多い（春日井、名古屋など） ・フリースクール、デイサービス、保育園、小規模園の利用
・ボードゲームなどで、じっくりと工夫して遊ぶ	**遊びの様子**	・フリースペース的な感じで利用され、子どもだけで遊ぶことができる簡単な玩具が人気。 ・職員が遊び方を伝えることで徐々に親子で遊び込む姿が見られている。
	子育て支援室	
・０歳児が中心	**来館者**	・はいはいフロアーで０歳児～１歳前後 よちよちフロアーで１歳前後～未就園児 ・１歳児、３歳児が中心
・土曜は平日より少ない ・ママが職員に話を聞いて欲しい ・相談件数平均８７件	**来館者の特徴**	・平日の午前中は来館者が特に多い ・土、日曜はパパと子どもの組み合わせの家族が多い ・測定相談時は来館者がかなり増える ・相談件数平均１１３件 ・職員と話をしたい方は支援室。親子でゆっくり遊びたい方は児童センターへと自分のスタイルに合わせて選んで利用される。
・狭いため、危険が伴う ・狭いことで、他の親子と交流ができる	**親子の様子**	・広い空間でのびのびと遊ぶ ・フロアーが分かれているため、安心して遊ぶ ・職員が仲立ちをすることで他の親子と交流ができる

活動内容
“話我和をつなげる輪に”

遊びを通してつながる**和**
「フェスタセンターカップ」

子育て講座で高めあう**我**
「ちょっと・ステップアップ」

子育て支援でつながる**話**
「移動子育て支援」

見えてきた課題

＜児童センター＞
・中高生が来館しやすい雰囲気作りや、楽しめる遊び場の設定などの工夫
・乳幼児が多いことから、乳幼児の発達に合った、玩具の環境設定

＜子育て支援室＞
・空間が広いため、安心で居心地の良い環境作り
・パパと子どもでの来館が多いため、イクメン講座の充実とパパ同士の交流の場作り